

施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	1	良好な地域環境づくり	担当部局名	部局長名
	施策	1	環境保全	地域環境部	田中 明子

1. 施策の基本方針 **P**lan

- 地球温暖化等の環境問題を踏まえ、環境への負荷が少ない持続可能な低炭素社会の構築を目指し、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量・再資源化の取組を進め、人と自然が共生する潤いのあるまちづくりに努めます。
- 「第三次なばり快適環境プラン」に基づき、市民の環境保全意識の醸成に努めるとともに、市民・事業者・行政の3主体がそれぞれの役割を果たすとともに3主体が協働して、環境保全に積極的に取り組みます。
- 清掃活動等の美化運動を市民ぐるみで展開するなど、身近な環境美化意識を醸成するとともに、ごみのポイ捨て防止などマナーやモラルの向上、不法投棄防止対策に取り組み、清潔で美しいまちづくりを目指します。

2. 現状と課題 **P**lan

- ・伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」の一環として実施した名張クリーン大作戦に参加していただいた方が、引き続き、清掃活動に関心を持ち、今後の参加・周囲への拡大へ繋げていけるよう、啓発していくことが課題です。
- ・公害防止協定の見直しについては、事業者との調整等しながら進めていく必要があります。
- ・環境学習について回数・内容共にさらに充実を図ります。

○施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
清掃活動や自然保護活動により、名張市の環境が良くなっていると感じる市民の割合（%）	目標	-	-	-	70.0	
	成果	66.2	69.9	66.4		5.3%
環境教育の推進（回）	目標	-	-	-	15	
	成果	8	10	15		100.0%
地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動の参加者数（人）	目標	-	-	-	10,000	
	成果	6,749	7,393	5,290		0.0%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） **P**lan **D**o

計画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・名張クリーン大作戦をはじめとする地域の清掃活動をさらに促進できるよう、実施に関する相談に応じ、イベントや窓口において啓発を進めます。 ・公害防止協定については、引き続き、事業者とコンタクトをとり、見直しを進めていきます。 ・環境学習について回数・内容共にさらに充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名張クリーン大作戦2017は、参加呼びかけの成果として、4,670人が参加し、平成26年度以降、伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」の際に次ぐ参加者数となりました。 ・公害防止協定については、法令の基準値順守は当然のこと、基準値の範囲内であっても企業努力として、周囲の生活環境に負荷を与えない数値を設定するように求め、交渉を続けています。 ・環境学習については、小学校給食における食品ロスに言及し、廃棄物の減量を促しました。昨年度に引き続き、三重県地球温暖化防止活動推進センターから講師を招き、充実した環境学習を実施することができました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

- ・平成30年度は通常の名張クリーン大作戦となることから、参加者の減少が想定されます。
- ・公害防止協定の見直しは、事業者との調整を図り、進める必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） **A**ction

- ・名張クリーン大作戦をはじめとする地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動については、日常から身近な環境美化や地域ぐるみの清掃活動等の啓発を行うことで、参加者の拡大へ繋げ、清潔で美しいまちづくりを目指します。
- ・事業所との公害防止協定について、内容を吟味しての締結を進め、環境への負荷が少ない持続可能な低炭素社会の構築を目指します。
- ・環境学習について、子どもたちが、暮らしと環境の関わりについて理解し、環境に配慮できる心と行動を身につけられる内容とします。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

市民総ぐるみの名張クリーン大作戦の継続など、地域や様々な主体が自ら環境美化活動に参加するよう周知・啓発に努めること。